

CEGLOS + GLOCOL OPEN JOINT SYMPOSIUM

静岡県立大学グローバル・スタディーズ研究センター+大阪大学グローバルコラボレーション・センター共催
一般公開シンポジウム in SHIZUOKA



世界各地の食事情に学ぶ

フード・セキュリティの未来

Bhutan

VIETNAM

Indonesia

Russia

KENYA

FRANCE

Alaska



◆パネリスト◆

- 上田晶子 (大阪大学)
トウガラシ消費大国ブータンの食事情—トウガラシの入手と消費
- 住村欣範 (大阪大学)
家の木、庭の葉—ベトナム農村の家庭における薬と食
- 思沁夫 (大阪大学)
ロシア人の生きる戦略—経済移行期におけるダーチャの役割
- 阿良田麻里子 (国立民族学博物館)
灯油かガスか、薪のかまとか—インドネシアの燃料事情
- 湖中真哉 (静岡県立大学)
ケニア国内避難民の救援食料と地域セーフティ・ネット
- 中川理 (大阪大学)
フランス・プロヴァンス地方の農と食—危機と新しい動き
- 岸上野啓 (国立民族学博物館)
アラスカ先住民社会における地球温暖化や国際規制による食糧問題

◆ディスカッサント・座長◆

- 玉置泰章 (静岡県立大学)
- 伊藤一頼 (静岡県立大学)
- 比留間洋一 (静岡県立大学)

◆入場無料◆

◆聴講自由◆

◆事前予約不要◆

(先着200名様まで着席可能)

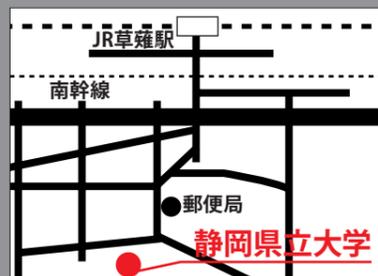
◆日時◆

2008年12月6日(土)

13:00~18:00

◆会場◆

静岡県立大学小講堂



◆お問い合わせ先◆

〒422-8526
静岡市駿河区谷田 52-1
静岡県立大学国際関係学部
湖中真哉
E-MAIL: maaculture@gmail.com